



三和中央病院

医療法人 清潮会 三和中央病院 広報誌

2008年6月発行

No.1

POCO a POCO

(ポコ・ア・ポコ)

発行人：塚崎 稔 発行所：長崎県長崎市布巻町165-1
TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588
<http://www.sanwa.or.jp>

印刷：昭英印刷株式会社 長崎市平野町13-13 TEL 095-844-0231

POCO a POCO (ポコ・ア・ポコ) とは…

ポコ・ア・ポコとは少しずつという意味があり、何事も少しずつ、徐々に良くなっていければなどの思いを込めてみました。



●基本方針

1. 私たちは誠実で親切な心をもって医療に従事します。
2. 私たちは人権を尊重した良質な医療を提供します。
3. 私たちは地域精神医療と地域ケアを実践していきます。

【塚崎院長挨拶】

院長 塚崎 稔



三和中央病院の前身である医療法人清潮会塚崎病院は昭和43年11月に長崎市の南部地域である長崎半島の中ほどの山と海に囲まれ自然に恵まれた環境の中に開設されました。私がまだ子供の頃に、その大自然の中で一時期を過ごした思い出は今も鮮明に私の記憶の中に残っています。

その後、医療法人清潮会は昭和56年に三和病院、平成7年には介護老人施設みどりの里を開設し、この地域の精神保健福祉に微力ながら貢献してきました。

そして、平成13年12月には塚崎病院と三和病院が統合し病床数755床の三和中央病院として生まれ変わり現在に至っています。

当院では認知症の患者さんに対する包括的な治療、児童思春期の患者さんに対する医療、アルコール依存症を始めとする嗜癖問題にも積極的に取り組んでおります。

今年には法人開設40周年にあたります。この記念すべき年に「POCO a POCO」を発行できることを大変嬉しく思います。これからも当院の理念である「安心できる心温まる医療」の実践に職員一同、全力を尽くしていく所存です。どうぞ、皆様方の心からのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【岩田副院長挨拶】



私が老年精神科病棟を担当して、20年が経過しました。現在、当院の老年期病棟は360床です。

認知症・うつ病・幻覚妄想状態等の診療・看護・介護にあたっています。必然的な合併症の内科疾患にも対応しています。必然的な嚥下困難に対しては、栄養部が嚥下困難対応食で対応します。介護が主な場合は当院併設の『みどりの里』に入所していただけます。

認知症に関しては(1)もの忘れ外来、(2)認知症の外来通院治療、(3)認知症の入院治療に対応しています。認知症の患者さんの入院病棟では、個別の治療・看護計画を立て、老年期精神科の専門医と専門の看護師と栄養部が対応します。『認知症を診る（看る）』のではなく、『認知症の患者さんを診る（看る）』が当院の理念です。

【松本副院長挨拶】 「木の物語」



当院東棟のとまと病棟(2F)とひまわり病棟(3F)の中心に広い光庭があり、そこに大きな、もちの木が植えられています。木の重さと根を包み土の重さが用意できるクレーンの限界ぎりぎり、植樹本番になってみないと移植できるかどうか分からないと言われた大きさです。療養・治療上のいくつかの思いが込められた木なのですが、今年になって始めた「とまと病棟・詩の教室」の時間に患者さんが次のような詩を書きました。

患者さんの理解をとってご紹介します。



10人の人がいれば、10通りの物語がこの木をめくって生まれるかも知れません。ちよつと見にきてみますか？

『一本の木』 作・秋

分厚いガラスに囲まれた造られた自然
窓だけが開かれていて
陽も当たるし風も吹く
小鳥たちだつてやってくる

そんな世界で
たった独りでポツリと立っている一本の木

あの木は一体どんな気持ちで
そこに立っているのだろう
独りで淋しくはないだろうか
私があの木なら淋しくて淋しくて
死んでしまうかもしれない
だからせめてあの木が独りにならないように
淋しくないように
空に舞う小鳥たちに呼びかける

少しでもいいからあの木の枝で羽を休めて
少しでもいいからあの木の枝でお話をして
少しでもいいから本当に少しの間だけでも
あの木を独りにしないであげて

きっとあの木が本当に独りになってしまったら
枯れて朽ち果ててしまうから

バレーボール部 チーム名：チェリー

毎週木曜日、19時より三和中学校体育館から、まるでバーゲンセールに群がる客のような元気な声と、ボールの弾ける音が体育館を埋め尽くしている。平成19年のメモリード杯Bパートの部にて念願の優勝をおさめることが出来た。それまでは大島大会で準優勝が最高であった。経験と自信が少しずつではあるがチェリーに備わってきている。今年は、今まで出場したことのない試合も出てみよう日々頑張っている。監督は梁瀬部長、チームアドバイザーは本村室長、コーチは長沼・他1名でアタックナンバーワンの如く怒涛の練習を行っているつもりではある。しかしながら我々の練習の基本理念は『楽しくのびのびと』!! 体育館の中は笑い声がよく響いている。チェリーには笑顔がよく似合います。三和中央病院の仲間として、楽しくのびのびとバレーボールを行っています。



薬剤部紹介

■ H19年実績（1月～11月まで）

入院処方箋枚数	58,528枚
	5,320.7枚／月平均
外来処方箋枚数	8,735枚
	794.1枚／月平均
入院注射箋枚数	26,198枚
	2,381.6枚／月平均
外来注射箋枚数	393枚
	35.7枚／月平均



薬剤部スタッフ紹介

薬剤師 6名・薬剤助手 7名 計13名

H13.12.1に旧塚崎病院（515床）と旧三和病院（300床）が同じ医療法人「清潮会」内で合併し薬剤部として発足しました（755床）。当初は終始、調剤のみに追われ、夜9時過ぎの帰宅が毎日のように続きましたが、スタッフのがんばりと仕事の合理化で何とか新しいことにも目を向けられるようになって参りました。

新コンピューターや調剤機器の導入により薬剤在庫管理、患者さんの薬歴管理、薬剤情報提供、自動調剤監視システムにより薬剤師の責任が明確化され、今後は薬剤管理指導業務の復活、充実や医局・看護・栄養・リハビリ・総務等各部署とチーム医療の推進を図り、近年中に認定される精神科専門薬剤師資格を一人でも多く取得し三和中央病院の今後の発展に寄与したいと思っています。

看護部長室紹介

* 看護部長室の仕事

患者様やご家族に安全・安心な看護を提供し、快適な入院生活を過ごしていただくように看護体制を整えます。また、看護職員が主体性を持って生き生きと仕事ができ、各自のキャリアを伸ばすことができるように環境を整えているところです。

* 看護部職員構成

看護部は看護部長・副看護部長・看護師長・看護主任・看護師・准看護師・看護補助、合わせて366名の職員が13病棟と外来に配置されています。各病棟は、看護師長・看護主任を責任者とし看護師・准看護師・看護補助で構成されています。

* 看護部活動

看護部の理念達成に向け院内教育の充実を図るとともに毎年、看護部の目標を立てて努力しています。平成20年度の看護部の目標は『患者様・ご家族への接遇向上』『安全・安心な看護の提供』です。年間目標に向けて皆さん一緒にがんばりましょう。



看護部長室は西棟3階会議室の隣にあります。職員の皆さん、一人で悩んでいることはありませんか？ 私達は共に悩んで問題を解決していきたいと思っています。看護部長室のドアはいつも開いていますので気軽に立ち寄って下さい。お待ちしております。



塚崎病院の時に発足し、現在も三和中央病院で引続き活動が続いている『みのる会』が10周年を迎えました。この『みのる会』は当院を退院された方々が集まり断酒を目的としたグループです。



毎月1回、会員の皆さんや当院職員が集まり、和気あいあいと行われています。月に1度が積重なり、すでに110回以上を超えました。

これも会員の皆さんの断酒に対する強い意志、団結力の賜物です。本当に10周年おめでとうございます。

内観療法

当院では依存症の患者様のための治療の一つである『内観療法』を実施しております

内観療法とは？ 内観とは心の内側を観察するという意味です。それは「本当の自分自身」を知る方法として誰でも無理なく、みごとに工夫された心理療法のひとつです。

内観療法の仕方 屏風の中に自由な姿勢で座ります。そして母（または母親代わりの人）、父、配偶者など重要な人物に対するご自分を下記の3点について、年代順に区切り相手の立場に立って具体的な事実を調べます。特に「迷惑をかけたこと」に多くの時間をかけます。これを1日11時間、7日間続けます（集中内観）。

- ① お世話になったこと ② 迷惑をかけたこと ③ して返したこと

内観療法の医療への応用

- * 心身症（心気傾向、身体表現性障害）
- * ストレス反応（PTSD、抑うつ反応、不登校）
- * 摂食障害（神経性無食欲症、大食症）
- * アルコール・薬物依存症、たばこ依存症
- * 神経症性障害
（不安障害、パニック障害、強迫性障害）
- * 虐待／暴力
（児童虐待、ドメスティックバイオレンス）
- * 統合失調症 * ターミナルケア * 家族内観

お知らせ

「第20回内観療法ワークショップ」が開催されます。

大会テーマ：～^{かえ}回復する力～ 内観で生れるころ
平成20年11月1日(土)～2日(日)
長崎活水女子大学 長崎市東山手町1-50

【お問い合わせ】

大会事務局 三和中央病院（馬場 博）
長崎市布巻町165-1
TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588



医療法人 清潮会 三和中央病院
診療科目：精神科・心療内科・内科・歯科
〒851-0494 長崎県長崎市布巻町165-1
TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588
E-mail: info@sanwa.or.jp

編集後記

何とか第1号の広報誌を発行することが出来ました。広報誌作成スタッフ一同、胸を撫で下ろしているところです。発行にあたり、関係各方面の皆様のご協力ありがとうございました。

ご意見・ご感想などありましたらお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

<広報誌スタッフ一同>

担当：久保田